

第1回検討会の概要

(1) 検討会の目的について

- ・本検討会では、災害廃棄物の受入れの可否を議論するものではなく、市民の安全性の確保を最優先に課題を整理し、関連する情報を科学的に検証していくことを確認しました。

(2) 災害廃棄物の広域処理について

- ・災害廃棄物の現状と広域処理の必要性、焼却処理・埋立処分等の安全基準などについて、国のガイドラインにそって、事務局から説明しました。

(3) 広域処理に係る災害廃棄物の人体・自然環境に与える影響について

- ・科学的根拠に基づき、人体や自然環境への安全性が確保され、市民が安心して受入れることを前提として、災害廃棄物の種類ごとに運搬・保管・焼却・埋立等の各過程での安全性を検証することとしました。
- ・委員からは、被災地のがれきから検出される放射性セシウム濃度について、測定方法などを調査する必要があるとの意見が出されました。

(4) 検討会のスケジュールについて

- ・必要に応じて、金沢市内の関連施設を視察することとしました。
- ・夏頃までに3~4回開催し、市長への報告書としてまとめることとしました。

会議は、検討過程、意思形成過程であることから、非公開で行われました。